



もっと世界が憧れる北海道を、実現する。

道内5つの放送局が災害時に航空取材で協力 通称「北海道モデル」の覚書締結

【情報解禁】5月1日(木)午前0時



北海道放送株式会社を含む、道内の民放4社と NHK は、日本海溝・千島海溝周辺の大地震など大災害が発生した場合に、5局でヘリコプター取材を分担し、映像を共有する覚書を 2025 年5月1日に締結しました。5局は互いに協力することで、広大な北海道で多面的な報道を展開し、放送事業者として地域の人命救助と財産保全に寄与する体制を強化します。

【覚書の名称】

日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震時等の航空取材の協業(北海道モデル)に関する覚書

【おもな内容】

- ・協業は、北海道沿岸で「大津波警報」が発表された時に自動的に発動する
- ・5局のヘリコプターは飛行エリアを分担して撮影にあたる。収録した映像と音声は5局で共有して、各局および系列局で報道目的に限り使用できる
- ・協業は、原則として発動から24時間継続する
- ・定期的に訓練を実施し、大災害の混乱した状況でも、協力体制が取れるように連携する

【参加放送局】

北海道放送株式会社(HBC)、日本放送協会(NHK)、札幌テレビ放送株式会社(STV)、北海道テレビ放送株式会社(HTB)、北海道文化放送株式会社(UHB)